



お知らせします 町職員の給与状況

平泉町職員の給与は国・県の制度に準じています。また、町議会での予算や給与条例の審議を通じて明らかにされていますが、町民の皆さんに、より一層のご理解をいただくため、そのあらましをお知らせします。

①人件費の状況(平成19年度普通会計)

住民基本台帳人口(年度末)	歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)
8,751人	3,938,982千円	994,866千円	25.3%

人件費には特別職(三役、議員、各種委員など)に支給される給与、報酬などを含みます。

②職員給与費の状況(平成19年度普通会計)

(単位:千円)

職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B/A)
	給料	職員手当	期末・勤労手当	計(B)	
107人	410,683	66,241	169,995	646,919	6,046

職員手当には退職手当を含みません。

③平均給料と平均年齢の状況

(平成20年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	326,000円	41歳7月
技能労務職	334,700円	47歳3月

④初任給の状況

(平成20年4月1日現在)

区分	決定初任給
一般行政職	大学卒 161,600円
	高校卒 140,100円
技能労務職	高校卒 137,200円

⑤期末・勤労手当の状況

(平成20年4月1日現在)

区分	6月期	12月期	計
期末手当	1.4月分	1.6月分	3月分
勤労手当	0.75月分	0.75月分	1.5月分

⑥特別職の報酬などの状況

(平成20年4月1日現在)

区分	報酬などの月額	期末手当	
町長	540,300円	6月期	1.6月分
副町長	490,800円		
議長	271,000円	12月期	1.75月分
副議長	218,000円		
議員	203,000円	計	3.35月分

⑦職員数の状況

(各年4月1日現在・単位:人)

区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
	20年	19年		
一般行政	議会	2	2	0
	総務	21	20	1
	税務	5	5	0
	民生	24	24	0
	衛生	10	10	0
	農林水産	8	9	1
	商工土木	4	4	0
小計	80	80	0	
特別行政	教育	28	28	0
	小計	28	28	0
公営企業等会計	診療所	3	3	0
	水道	4	4	0
	下水道	1	1	0
	その他	4	4	0
小計	12	12	0	
合計	120	120	0	

(平成20年度定員管理調査より)

△事務事業調整による減(2) △世界遺産関連に伴う総合調整による増(1) △休職者の総務企画課付けによる増(2)

事務事業調整による減

マイバス意識を持って、積極的にバスを利用しましょう

4月18日から 厳美溪線に「要害」バス停の新設を予定

町の主要公共交通機関である路線バスが今まさに苦境に立たされています。①前沢循環線が業績の極端な不振により、3月いっぱい廃止されます。②衣川北股線、③衣川南股線も4月から9月まで、平日は従来通り運行しますが、土日祝日の運行が取りやめとなります。そして10月以降は、路線を廃止する方向で話し合いが進められていく予定となっています。これを受け町では、②③の代替路線となる⑤国道南線のダイヤを通学時間に合わせたものにしていただくよう、交通事業者との間で調整を図っています。また存続する④一関線や⑤国道南線も直近の実績が別表の通りとなっており、年々厳しい利用状況となっています。

一方、観光客の利便性向上のため、本年度から土日

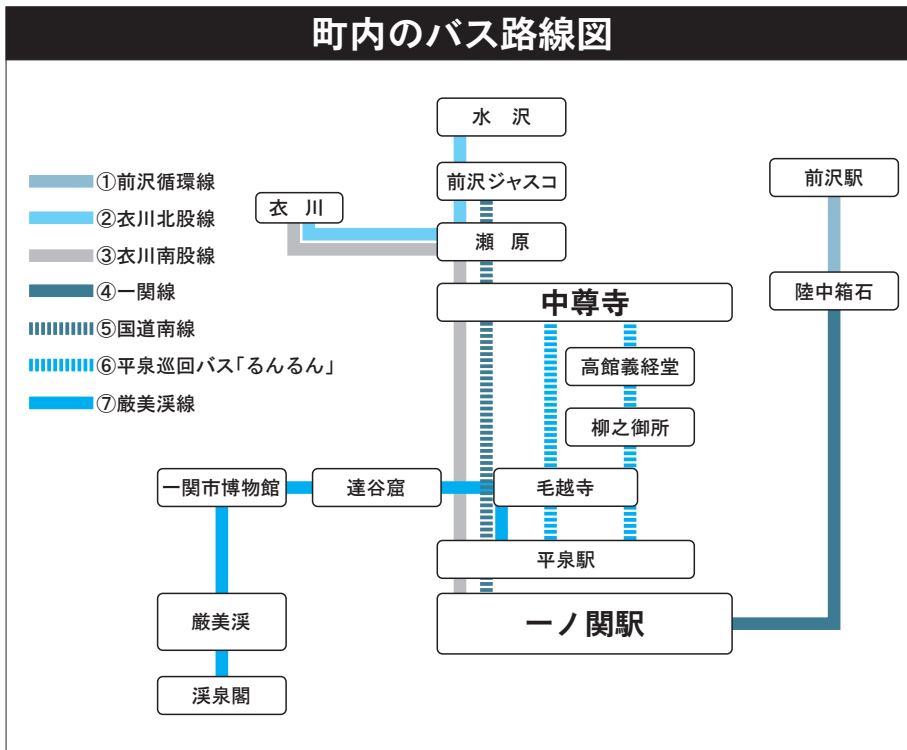
祝日の便数を10便増やした⑥巡回バス「るんるん」の運行は、昨年度より約1.5倍の利用者があり好調でした。また以前廃止となった⑦厳美溪線が本年度から復活するなど、明るい話題もありました。とはいえ、いずれの路線も主に観光客をターゲットにしたものであり、生活路線としては利用しにくいものでした。

そこで今年4月からは、厳美溪線において、毛越寺と達谷窟の間に「要害」バス停を新設することとなり、地元の方も活用することが可能となります。一度廃止になったバス路線が、こういった形で再び復活する例は全国でも極めて珍しいことです。沿線の方々には、再び廃止などの憂き目に遭わないよう積極的に利用し、地元でどんどん盛り上げていただければ幸いです。

厳美溪線のような例は特別ですが、一般的に現代は車社会にどっぷりと浸っており、今さらバスなんてと思う人も多いかと思えます。そんな中でも通学する子どもたちや車を運転できない高齢者の方々などにとって、バスはまだ貴重な足となっています。

近年、高齢者の判断ミスによる事故も多発しています。運転をやめようと思った時にはもうバスがないといった状況にならないよう、町でもより良い交通計画を立てる必要があると考えています。しかし、今あるバスの利用頻度を高めていくことが肝要です。「乗って残そう、わがまちのバス」といった気運を今後さらに高め、バスの利用に努めていきましょう。

◎問い合わせ先…総務企画課
☎46-5578



バスの運行実績 運行期間(平成19年10月～平成20年9月)

系統名	運行回数(1日)	平均乗車密度	輸送量(人)	経常損益(円)	補助金額(円)
衣川北股線	3.6	2.8	10.0	12,501,050	0
衣川南股線	4.3	3.4	14.6	9,195,141	0
国道南線	16.9	3.8	64.2	23,627,722	16,779,000(国・県)
前沢循環線	0.5	0.2	0.1	1,403,170	153,577(町単独)
一関線	8.0	3.9	31.2	33,473,116	2,690,250(町単独)

平均乗車密度とは1便当たりの平均利用者です。輸送量とは1日輸送人員の平均です。